

平成24年3月卒新規学卒者の就職環境

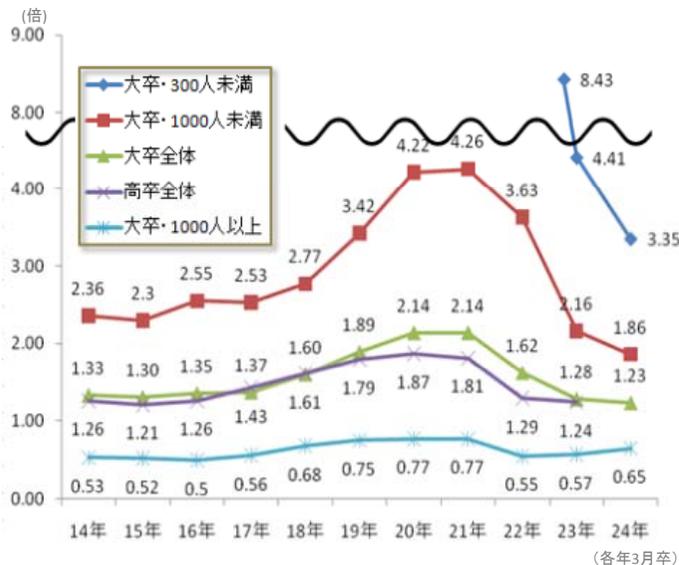
大卒

- 大企業は採用意欲が回復し求人総数も増加。しかし、**求人の大部分を占める中小企業の採用意欲は低調**で、前年よりも求人が減少した結果、**全体の求人倍率は就職内定率が過去最低となった平成23年3月卒より低下。**
- ジョブサポーターによる大学訪問調査（平成23年5月中旬）では、**平成23年3月卒よりも求人が減少した大学が約44%**、同水準が約39%、増加が約17%と、**多くの大学で平成23年3月卒よりも厳しい状況。**

高卒

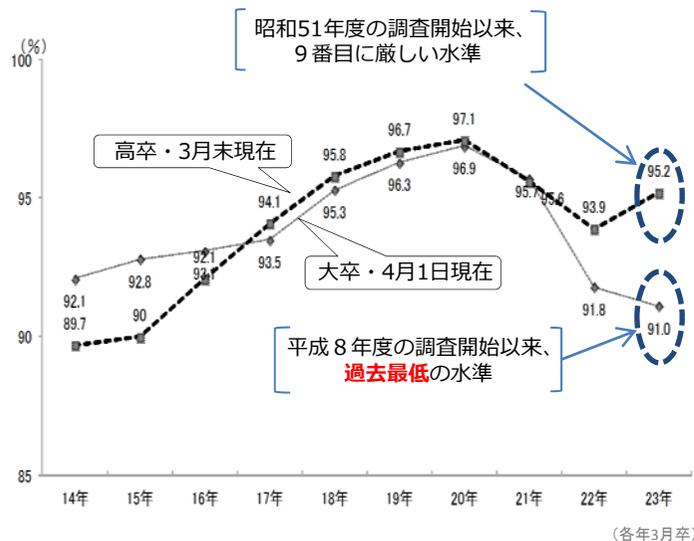
- 平成23年3月卒の求人倍率は1.24倍と過去最低（平成15年3月卒の1.21倍）と同水準に低迷。
- 平成24年3月卒については、求人の出足（6月20日～6月24日）が低調で、**前年同期よりも求人が9.0%減少、前々年同期よりも33.5%減少**しており、**多くの労働局で今後の見通しも厳しいと分析。**

高卒・大卒求人倍率の推移



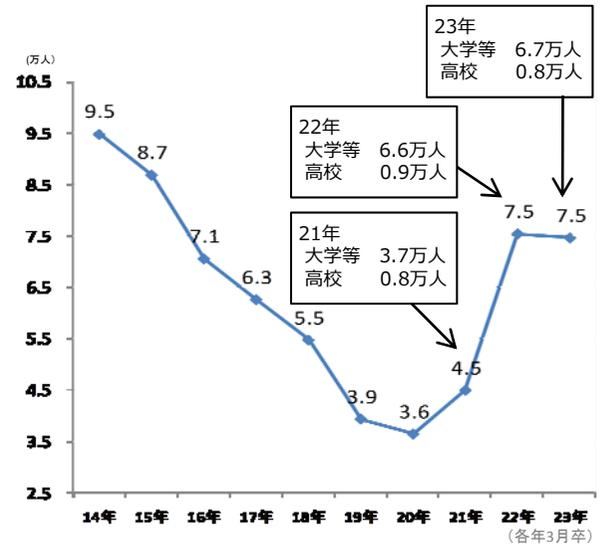
【出典】
 「第28回ワークス大学求人倍率調査（平成24(2012)年卒）」
 （リクルートワークス研究所）
 ※調査期間は平成23年2月23日～3月31日（3月14日～21日は休止）、震災後に被災地及びその周辺に本社が所在する企業を調査対象から外した。
 「職業安定業務統計」（厚生労働省）
 ※求職者数とは、学校又は公共職業安定所の紹介を希望する者の数。グラフは3月末の状況

大卒・高卒就職内定率の推移



【出典】
 「大学等卒業予定者就職内定状況調査」（厚生労働省・文部科学省）
 ※内定率とは、就職希望者に占める内定取得者の割合
 「職業安定業務統計」（厚生労働省）
 ※求職者数とは、学校又は公共職業安定所の紹介を希望する者の数

未就職卒業生数



【出典】
 「大学等卒業予定者就職内定状況調査」（厚生労働省・文部科学省）
 「職業安定業務統計」（厚生労働省）

（参考資料）